

テーマ: 『タフ・ラブ』生きるための
地域づくり勉強会

講師: 澁澤寿一氏
しづ さわ じゅ いち

日時: 9月23日 13時～16時

場所: 酒田市日向コミュニティセンター
(〒999-8206 酒田市上黒川家ノ東19-2)

参加費: 100円

※ 詳しくは裏面をご覧ください。
申込が必要です。



開催主旨

私たち^{Praxis}が活動のフィールドとしている酒田市日向地区は、酒田市の中では最も高齢化・少子化が進む地域の1つである一方、自然資源を中心とした四季折々の非常に豊かな地域資源を有する地域でもあります。そこに住む人々が大切にしてきた価値観を尊重し、日向だからこその地域づくりをしていくために、学生と地域住民で勉強会をすることで、地域の魅力を再発見し、活動の意義を見出すことができると考えます。

また、澁澤寿一さんの講演やワークショップを通して、日向の豊かな自然資源をうまく活用しながら、里山資本主義にも通じる、タフにラフに生きるための地域づくりについて考えを共有し、今後の活動に繋げていくことを目的としています。なお、本講演会は「2019年度公益信託荘内銀行ふるさと創造基金の助成を受けて開催します。

スケジュール

13:00~13:10 開会あいさつ、趣旨説明

13:10~14:20 第1部講演

「里山保全・利活用における循環型地域づくり」

講師：澁澤寿一氏（NPO法人共存の森ネットワーク理事長）

(14:10~14:20 質疑応答)

14:20~14:30 休憩

14:30~15:00 第2部 地域活動紹介

○酒田市日向コミュニケーション振興会

○東北公益文科大学学生活動団体「Praxis」

15:00~15:55 第3部 参加者とのワークショップ

主催団体「Praxis」とは

Praxisは、地域の課題解決に向けて「大学生にできること」を実践しようと2018年度に立ち上げた本学の学生活動団体です。主な活動のフィールドを酒田市八幡の日向地区とし、BAZUKURI PROJECTと称し、く地域の文化伝承・自然資源の利活用・関係人口の創出の3つを活動の軸としてきました。

主な活動としては、学生カフェによる居場所づくりをはじめ、自然資源利活用に向けた地域の子どもたちとのキャンプ、動画や雑誌を作成し、PR活動を行ってきました。それら活動の動機は、「コーヒーを焙煎する時間が好き」「映画を見るのが好き」「物語を考えるのが好き」「人を楽しませるのが好き」など、メンバーの好きなことや得意なこと、そんな誰にでもあるけれど自分にしかない、自分にしかできないことを、自分なりのアクションやアプローチで実践しています。実践を通して幸福感を憶える循環、それがPraxisの描く地図であり、コンパスが指す行方を決めるのは私たち学生です。

澁澤寿一さんとは

1952年生まれ。東京農業大学大学院終了。1980年国際協力事業団専門家としてパラグアイ国立農業試験場に赴任。帰国後、長崎オランダ村、循環型都市「ハステンボス」の役員として企画・建設・運営まで携わる。樹木・環境ネットワーク協会ならびに共存の森ネットワーク理事長として、日本やアジア各国の環境NGOと地域づくり、人づくりの活動を実践。明治の大実業家・澁澤栄一の曾孫にあたる。



9/23 開催「澁澤寿一氏 講演会」申込書

(申込は
9/16(月)まで)

ご氏名	
住民の方は <u>地区名</u> を 地区以外の方は <u>ご所属</u> をご記入下さい。	
電話番号 (連絡先)	
参加希望に○をつけて ください。	1. 第1部講演会 2. 第2部活動発表・第3部ワークショップ

日向地区からご参加のみなさまへ

お申し込みは上記申込書で日向コミセンまでお願いいたします。

(この申込書を切り取ってお使いください)

日向地区以外からご参加のみなさまへ

お申し込みは Praxis インスタグラム →

もしくはメール (nikko.koeki@gmail.com) で

申込書の項目を直接ご連絡ください。



多くのみなさまのご参加を心よりお待ちしております!!